

060619-14 号で紹介した「勇気の連鎖」の取り組み。取り組みの都合で何をしているかは紹介していなかった。この取り組みは、今もなお続いている▼「みんなにいえばいいんじゃない?」「それではダメなんだ」「きまりにしちゃいけないんだ」という当時の児童会の言葉を、これまでかたくなに守り続けているのが、美化委員会を中心とした現在の6年生の子たち▼この子たちは、あれから1年間、友だちを「巻き込み」ながら取り組みを続けていて、少しずつ成果は見えている。その6年生の子たちが、校長室にやってきた▼昨年度は、児童会（現中1）と美化委員会（現6年）の正義の衝突だった。そして、今年度は、6年生と5年生の美化委員会の正義がぶつかろうとしている。実におもしろい▼6年生には、去年の児童会の子が動くようになったきっかけはなんだったのかを今日初めて説明した。6年生の有志はあるキーワードだけをたよりに、「勇気の連鎖」を続けてくれていたのだ。とてもうれしい▼正義はぶつかるものだが、争うものではない。子どもたちは、実はどうしたらよいものかと相談に来たのだが、ヒントだけ教えた。これから子どもたちは真実に戻り、もう一度正義を希求していこう。きっとそのプロセスに学びがあるはずだ。ある6年生の子が最後にこんなことを言った。「今度も絶対うまくいく。喧嘩じゃないから」